

1. 世界の高齢者の現状(生活)と課題

1) 事前課題

- (1) 授業テーマに基づき担当する地域についてグループメンバーと学習した内容をまとめる。
- (2) 各グループ発表者を決めておく。

2) 合同授業

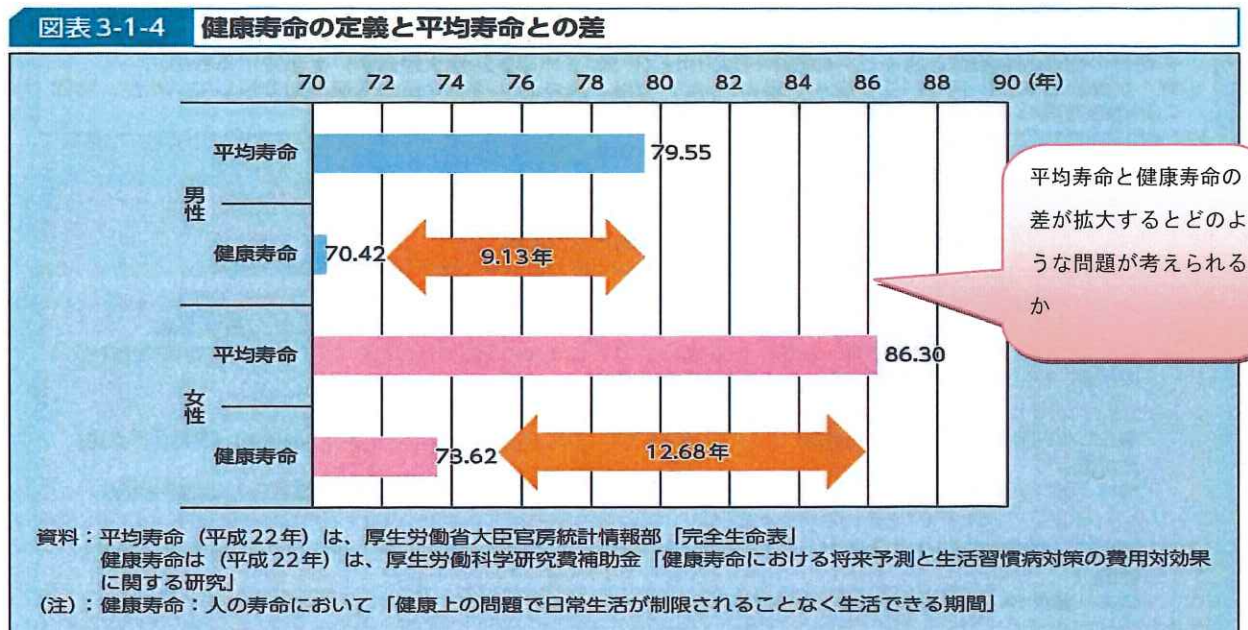
(1) 発表(各グループ3分ずつ)

※ 発表順番(1組→2組)

- ①アメリカ ②フランス ③ドイツ ④中国 ⑤韓国 ⑥ブータン ⑦カンボジア ⑧ブラジル ⑨フィリピン
- ⑩日本

(2) 世界の高齢者の現状(生活)を知ることで、日本の高齢者の現状と課題を理解する。

日本は現在、少子高齢社会における健康長寿社会の実現と、経済成長という大きな課題を抱えている。今後の日本は高齢化がさらに進行し、その一方で生産年齢層の減少も進行していくため、総人口の減少傾向も止まらない。かつての日本ではこうした状況を経験したことがなく、これまでの考え方、これまでの施策等をそのまま続けることは難しいと考えられている。



高齢化が進行しているとはいえ、いわゆる「元気な高齢者」は増えており、65歳以上を高齢者とするこれまでの高齢者の定義についての考え方が現実的ではなくなっている。70歳をすぎても本人に意欲や能力があるならば、それに応じた力を発揮してほしい、そのための環境づくりが必要とされている。

(3) 課題レポート (課題点 20点)

テーマ「健康長寿社会を目指す今後の課題と取り組みについて」

※用紙の指定は無し、パソコンで作成してもよい、400字以上とする。

提出日:令和4年1月24日(月)9時まで